

街路事業 実施状況説明資料

連続立体交差事業 JR片町線・東西線
都市計画道路事業 新庄長柄線ほか3事業

平成26年8月
建設局

局運営方針に照らした事業の位置づけ

平成26年度 建設局運営方針

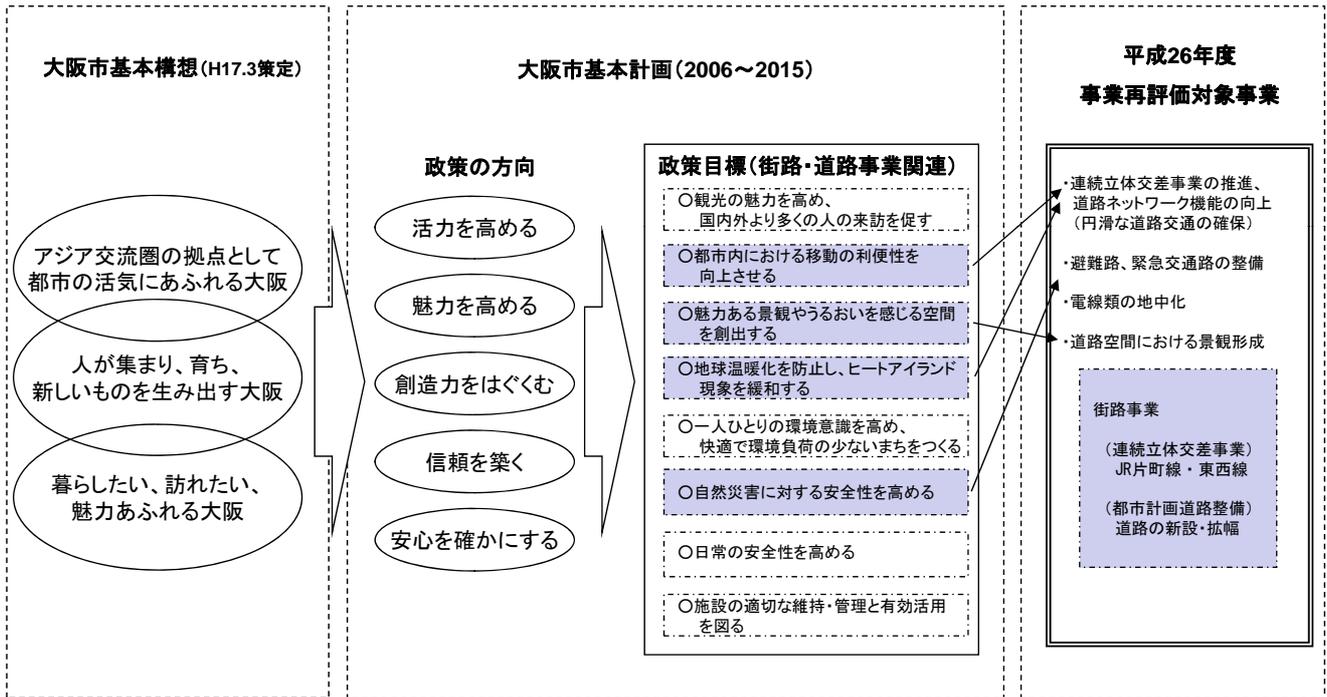
【局運営の基本的な考え方】

- ・大阪市では、道路、橋梁、河川、下水道、公園など膨大な量の都市基盤施設を管理しており、かつ、古くから都市化が進んだため、都市基盤施設の高齢化が進んでいる。これらの都市基盤施設は安全・安心な市民生活や都市活動を支える基盤であるため、計画的な管理を行い、その機能を着実に維持していく。
- ・安全・安心の課題として、南海トラフ巨大地震に対する検討、近年多発している集中豪雨への対応を強化するための地域特性にあった局地的な浸水対策の実施、通学路の安全確保や交通事故抑止に向けた取組みを推進する。
- ・さらに、活力あふれる都市空間の実現、魅力ある都市空間の創出に向け、都市交通の円滑化、市街地の一体化を促進する連続立体交差事業、実感できる緑の創出などに取り組む。
- ・市政改革プランに沿って、歳入の確保や経常経費の削減等に取り組む。

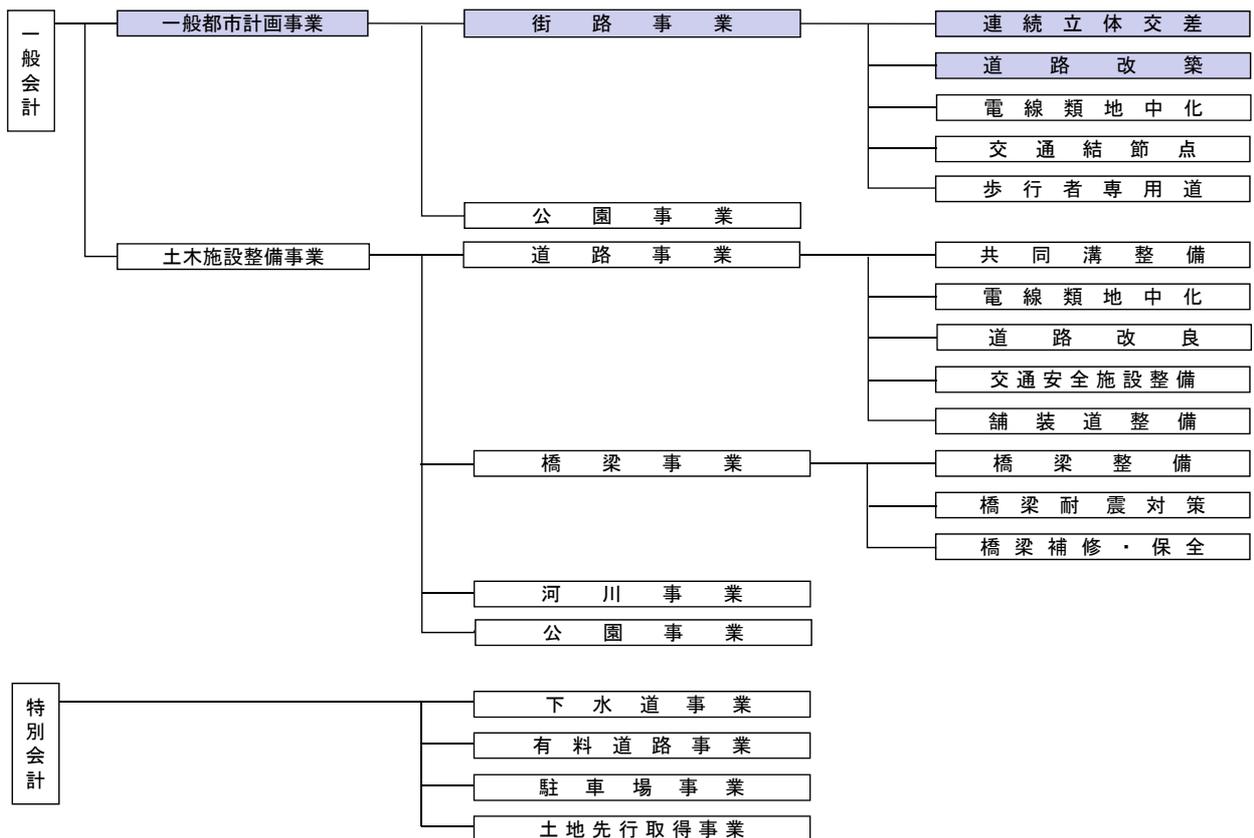
(街路事業関連)

経営課題	戦略及び具体的取組み
経営課題2 ・都市基盤施設の整備が未だ十分でない地域や都市基盤施設の地震に対する備えが整っていない箇所がある。 ・都市基盤施設の震災対策を着実に推進していく必要がある。	【戦略 都市基盤施設の震災対策】 ・密集市街地において、地震災害時の延焼遮断帯や緊急輸送・避難等の交通機能を担う都市計画道路等について、特に、優先的に取組みが必要な地区の骨格路線の整備を重点的に推進する。 【2-1-4 密集市街地における道路整備】 ・地震時に大きな被害が想定される重点密集市街地の被害を軽減するため、優先地区における骨格となる路線等を整備し、火災の延焼防止や避難、救援活動の円滑化等の防災性の向上を図る。
経営課題4 ・大阪都市再生環境道路や広域道路ネットワークにミッシングリンクが存在している。 ・開かずの踏切は全国で約600箇所あるが、その20%が大阪府に存在し、そのうち27箇所が大阪市に存在している。 ・都市計画道路の整備など交通の円滑化に関する取組みを推進していく必要がある。	【戦略 交通の円滑化】 ・淀川左岸線2期事業について、引続き計画的な事業用地の取得と並行して、関係機関と協議・調整を行い、工事を実施していく。 ・阪急電鉄京都線・千里線について、淡路駅周辺(約7km区間)の高架化により、踏切除却、交差道路の整備(拡幅等)を行い、交通阻害の解消を図る。 【4-1-1 淀川左岸線2期】 【4-1-2 連続立体交差事業】 ・阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業

街路事業の大阪市の全体計画の中での位置づけ

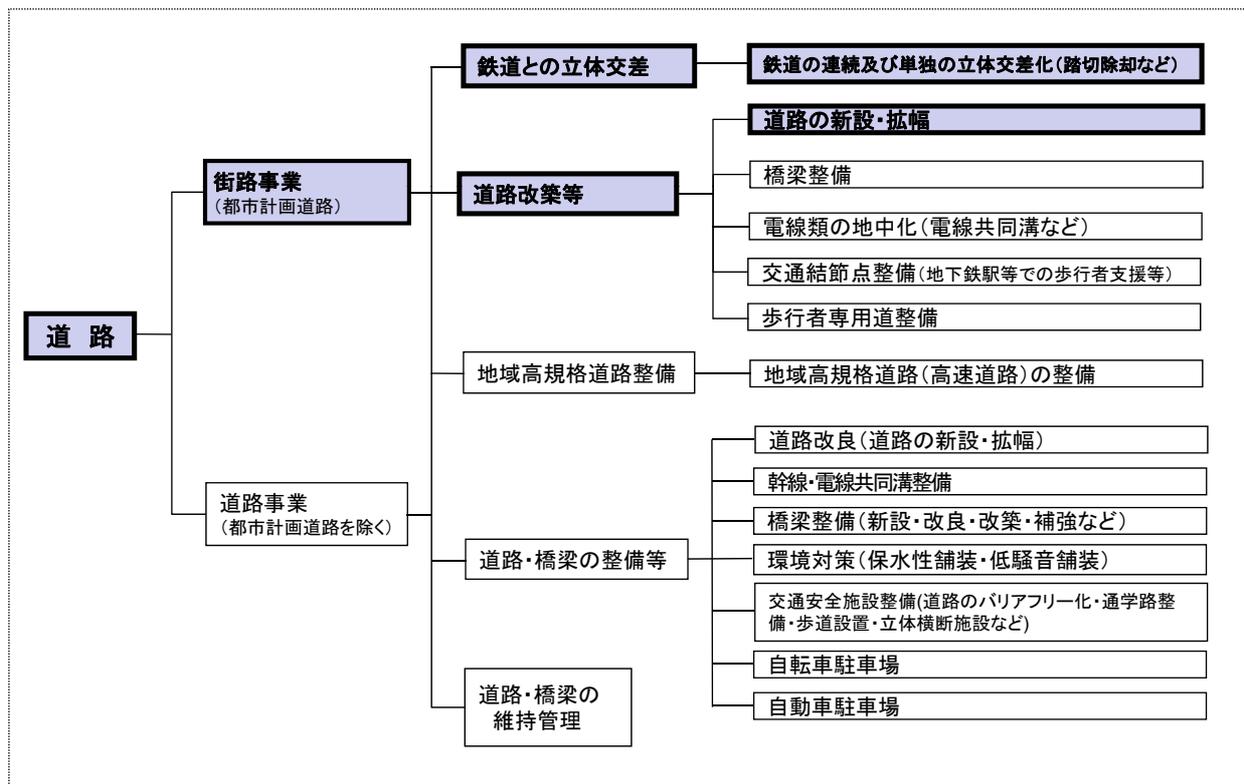


建設局事業の体系



道路に関わる事業の種別

一般に道路の整備は、事業制度面から、都市計画法に基づき施行する街路事業と、道路法に基づき各々の道路事業者が施行する道路事業とに大きく区分される。



4

都市計画道路事業(街路事業)の目的

都市計画道路事業(以下、街路事業)は、都市における円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図り、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動に寄与することを目的としている。

都市の最も基本的な施設である街路は、交通機能・空間機能・市街地形成機能など次のような多様な機能を持っている。

大項目	小項目	内容
都市交通施設機能	通路	人及び物の動きのための通路
	沿道利用	土地、施設、建物等への出入り、貨物の積卸
都市環境保全機能	景観・日照・風通し等	都市のオープンスペースとしての住環境を維持
都市防災機能	避難路・緊急交通路	災害発生時の避難及び救助
	災害遮断	災害の拡大を遮断するための空間
都市施設のための空間機能	他の交通機関	モノレール、新交通システム、地下鉄、路面電車等
	ライフライン施設	電気、上下水道、ガス、電話、CATV等
	その他の施設	電話ボックス、信号、案内板等
市街地形成機能	街区の構成	街区の位置、規模、形状を規定
	市街地の誘導	土地利用の高度化促進等

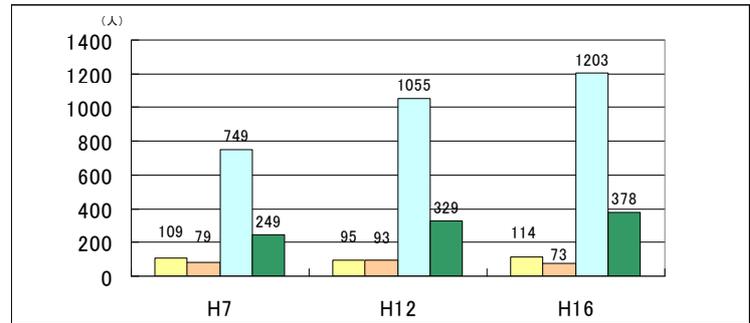
5

都市計画道路の整備効果②

市街地形成機能

本庄西天満線(西天満工区)の整備により、沿道建物が、木造2階建てから、マンション等に更新され、高度利用による効果として、周辺人口が平成7年度に比べ、約1.5倍に増加。

【位置図】



○本庄西天満線(西天満工区)の開通による町丁目人口の変化

	平成7年度		平成12年度		平成16年度	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
西天満1丁目	51	109	53	95	78	114
西天満2丁目	28	79	51	93	30	73
西天満3丁目	377	749	634	1055	759	1203
西天満4丁目	118	249	195	329	264	378
合計	574	1186	933	1572	1131	1768

8

市民・利用者からの要望・問合せ

街路事業については、事業方策や事業内容に対する要望や問合せが多いが、未着手路線についての早期着手への要望も2割程度ある。また、電話等による市民からの問合せでは、未着手路線についての事業化の予定に関する問合せが多い。

「市民の声」の内容

1	事業方策に関する要望	58.6%
2	事業内容に関する問い合わせ	19.0%
3	事業の早期着手への要望	17.2%
4	事業の早期完了への要望	5.2%

※平成23・24・25年度の街路事業に関する「市民の声」58件について分類した

「市民の声」以外の市民からの問い合わせ内容

事業化予定	事業中路線	事業完了	計画内容	計画区域明示	都決日等	建築関連	その他
29.5%	13.3%	12.4%	6.7%	2.9%	8.6%	17.1%	9.5%

※平成26年4月～7月の4ヶ月間に道路部街路課に問い合わせのあった105件について分類した。

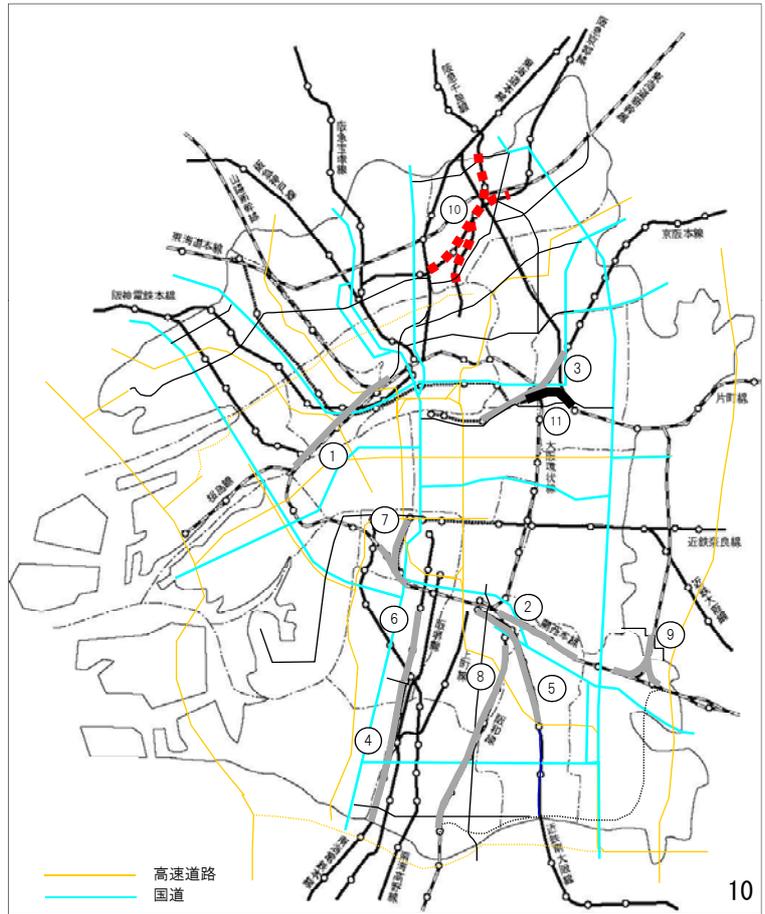
資料:大阪市建設局調べ

9

街路事業(連続立体交差事業)の事業計画・事業箇所図

No	事業箇所	延長(km)	踏切数	進捗状況	凡例
1	国鉄西成線(大阪環状線) (大阪～西九条)	2.8	11	完了	
2	国鉄関西本線 (平野～天王寺)	2.5	11		
3	京阪本線 (天満橋～野江)	2.6	7		
4	南海本線Ⅰ期 (玉出～大和川)	3.4	13		
5	近鉄南大阪線 (阿部野橋～針中野)	3.4	16		
6	南海本線Ⅱ期 (萩ノ茶屋～玉出)	2.4	7		
7	JR関西本線 (今宮～JR難波)	2.2	5		
8	JR阪和線 (美章園～杉本町)	4.9	12		
9	大阪外環状線 (市域界～加美)	2.4	7		
小計		26.6	89		
10	阪急京都線・千里線 (崇徳寺～上新庄、美島～吹田)	7.1	17	事業中	■■■■■
11	JR片町線・東西線 (大阪城北詰～鳴野)	1.3	3	着工準備	■■■■■
小計		8.4	20		
計		35.0	109		

※JR片町線・東西線については、事業化されていないが、本路線が着工準備採択後、5年を経過した時点では着工準備採択路線も評価対象であったため、これまで事業再評価を継続している。



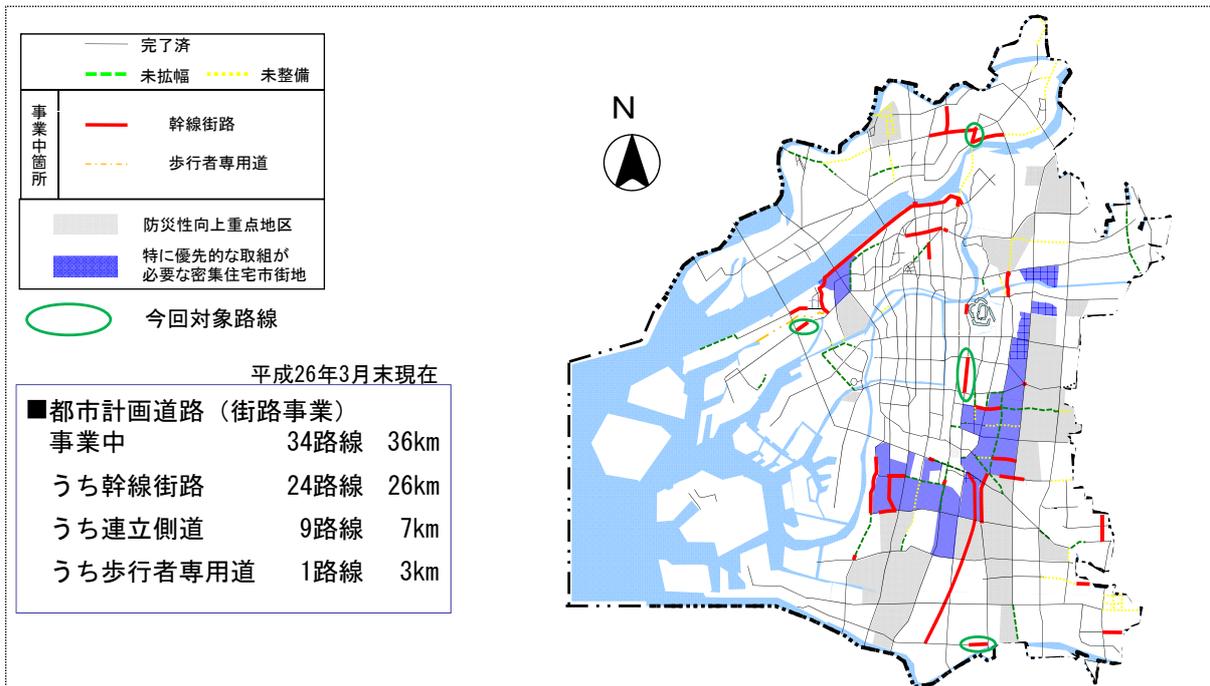
街路事業(道路改築・歩行者専用道)の事業計画・事業箇所図

(単位: km, %)

平成26年3月末現在、185路線511kmのうち、406km(79%)の整備が完了しており、105km(事業中含む)が未整備となっている。

市内中心部は、ほぼ整備が完了しており、現在は、周辺部での整備が多くなっている。

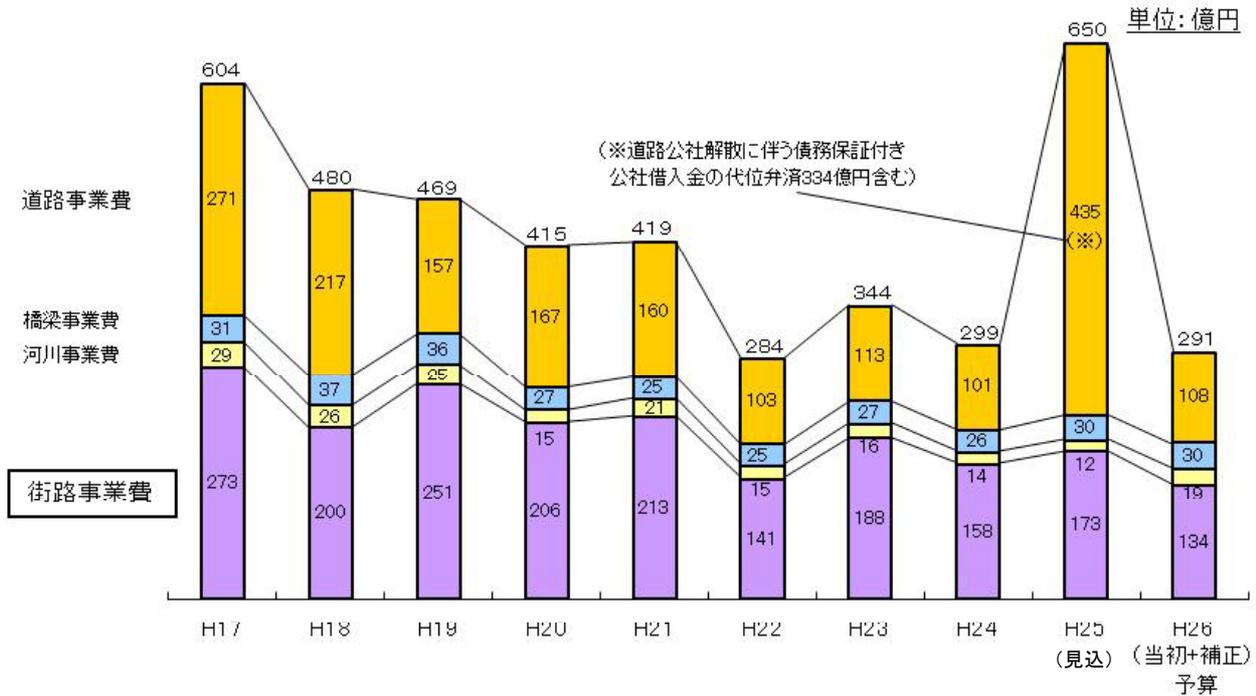
種別	路線数	計画延長	整備済延長	整備率
幹線街路	121	436	349	80
区画街路	47	40	30	75
歩行者専用道	17	35	27	77
合計	185	511	406	79



事業費の推移

①建設局事業費(決算額)の推移(10年間)

市の財政状況が厳しくなる中、平成26年度予算で街路事業費は134億円であり、平成17年度決算と比較すると約49%となっている。

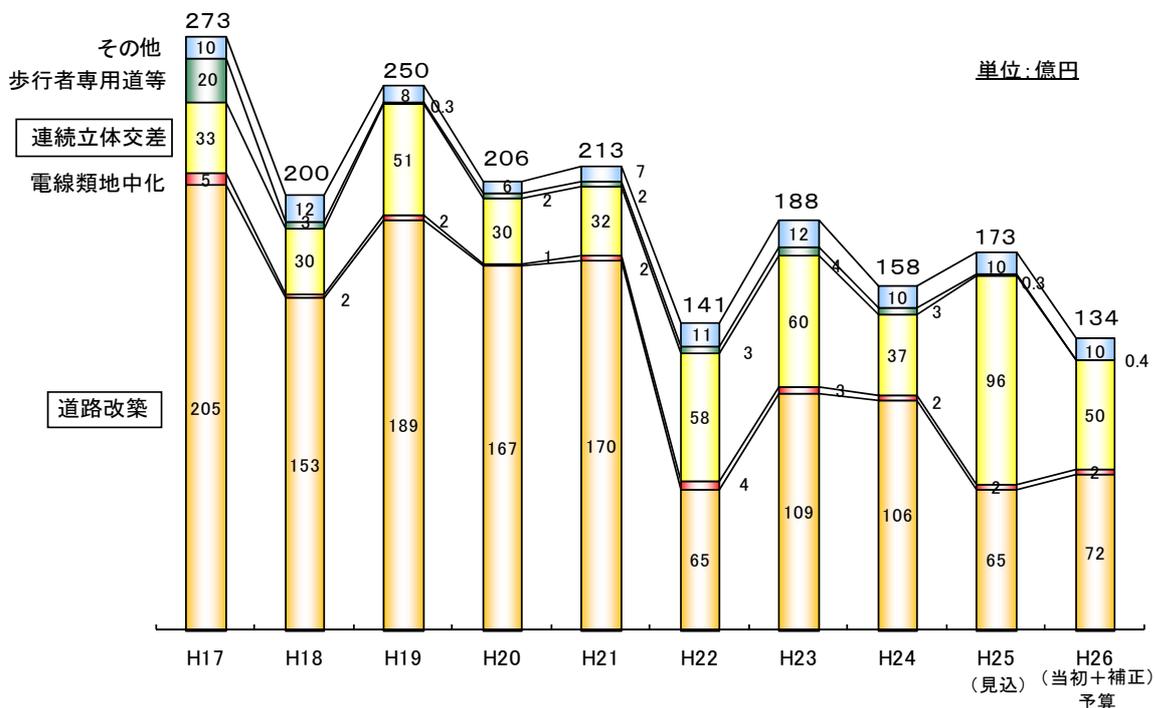


12

事業費の推移

②街路事業費(決算額)の推移(10年間)

街路事業費の内訳を表す。このうち道路改築については平成26年度予算で72億円であり平成17年度決算の約35%となっている。



13

選択と集中の考え方等(街路事業について)

■国土交通省の街路事業の進め方

街路事業は、国の社会資本整備総合交付金事業にて実施している。
現在の国の重点施策は、以下のとおりである。

- ・踏切除却する「連続立体交差事業」
- ・完了期間を宣言した「都市計画道路」(重点整備路線)
- ・都市高速などの「地域高規格道路」
- ・重点密集市街地の防災環境軸となる「都市計画道路」

■大阪市の街路事業

まちの渋滞の解消、道路ネットワークの向上など、都市活動を支える都市計画道路の整備、ボトルネック踏切の解消などが長期化し、効果の発現に時間を要していることから、局運営方針に基づき、以下のとおり整備を進める。

【道路と鉄道の立体交差】

鉄道を高架化及び地下化することによって、踏切を除却し、踏切渋滞、事故を解消するなど都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を促進するため重点的に投資する。

【密集住宅市街地における骨格路線】

密集住宅市街地PTの中期目標として、優先地区の各地区外周を骨格路線と位置付け、延焼遮断帯や避難路機能の発現など、その防災骨格形成率をH32までに8割以上達成するため重点的に投資し整備を進める。

なお、長期的には、引き続き重点的に整備を進め、H45を目途に骨格の形成完了をめざす。

【重点整備路線、完了期間宣言防災路線】

用地取得率が高く、整備効果が早期に発現できる路線や地震時における重点密集市街地の被害を軽減するため防災環境軸の核となる路線を重点整備路線や完了期間宣言防災路線に位置付け、重点的に投資し整備を進める。

【他事業関連路線、鉄道・立体交差事業関連路線、地域高規格道路】

他事業と連携して進めることが事業進捗上有利な箇所や先送りすることの影響が大きく他事業の進捗に合わせる必要がある路線、並びに全国的な幹線道路ネットワークと一体となって都心部と内陸部の連携や広域的交流拠点との連結強化等に資する路線に重点的に投資し整備を進める。

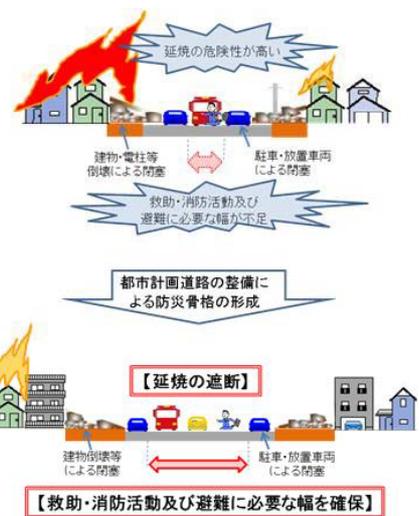
【その他路線】

その他の路線については、買取要望への対応など、限定的な事業実施にとどめる。

■事業を長期継続することによる費用の発生等について

- ・街路事業については、厳しい財政状況の下での予算確保や用地取得の難航から長期継続している事業が多いため、取得した用地では、防塵舗装やネットフェンスを設置することで安全な通行路の確保や雑草等の発生、不法投棄などを防いでいる。
- ・これら防塵舗装やネットフェンス等の維持管理は、既に供用している道路の維持管理とあわせて現場事務所が行っている。
- ・また、取得した用地は、可能な箇所から道路としての本整備や暫定整備を行うほか、駐輪場や広場としての仮整備、あるいは公募により民間駐輪場として収入を得るなど、可能な限り未利用地の有効活用を努めることで市民に与える印象にも配慮している。

密集住宅市街地における骨格路線の整備



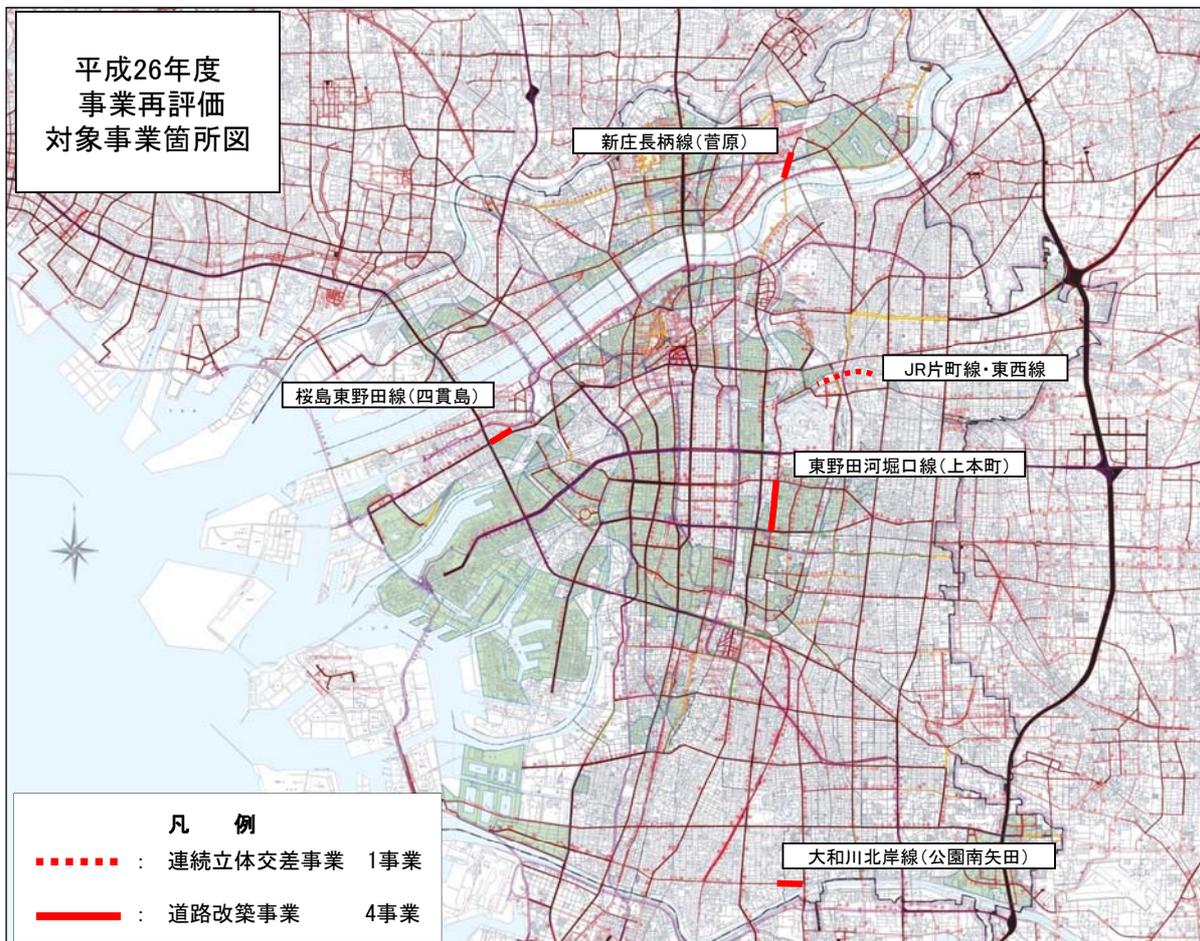
実施中事業一覧(街路事業)①

■ : 平成26年度 事業再評価対象事業

No.	事業名	全体事業費 (億円)	進捗率	完了予定 年度	備考 (優先度関連事項等)	実施状況・予定(実施済:●、事業予定:○)															
						H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30						
街路事業(連続立体交差)																					
1	阪急京都線・千里線	1625	用地(89%) 工事(16%)	H32	重点整備	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○				
2	JR片町線・東西線	650	用地(0%) 工事(0%)	未定	着工準備採択	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
街路事業(道路改築)																					
1	新庄長柄線(菅原)	67	用地(45%) 工事(0%)	H30		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○				
2	大和川北岸線(公園南矢田)	27	用地(94%) 工事(98%)	H29		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○				
3	桜島東野田線(四貴島)	33	用地(85%) 工事(0%)	H30		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○				
4	東野田河堀口線(上本町)	50	用地(52%) 工事(0%)	H31		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○				
5	岩崎橋今里線外1(今里交差点)	5	用地(92%) 工事(88%)	H27	重点整備路線	●	●	●	●	●	○	○									
6	加島天下茶屋線外1(橋)	196	用地(99%) 工事(99%)	H27	重点整備路線 概成済み	●	●	●	●	●	○	○									
7	淀川北岸線(菅原)	147	用地(56%) 工事(0%)	H32		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○				
8	津守阿倍野線	67	用地(77%) 工事(0%)	H27	重点整備路線 密集住宅市街地における骨格路線	●	●	●	●	●	○	○									
9	尼崎堺線(西成南)	114	用地(83%) 工事(8%)	H27	密集住宅市街地における骨格路線	●	●	●	●	●	○	○									
10	十三吹田線	68	用地(57%) 工事(0%)	H27		●	●	●	●	●	○	○									
11	豊里矢田線(北田辺)	139	用地(99%) 工事(17%)	H27	密集住宅市街地における骨格路線	●	●	●	●	●	○	○									
12	河堀口舎利寺線	55	用地(75%) 工事(25%)	H31		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○				
13	鞍作線	25	用地(88%) 工事(26%)	H29		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○				

実施中事業一覧(街路事業)②

No.	事業名	全体事業費 (億円)	進捗率	完了予定 年 度	備 考 (優先度関連事項等)	実施状況・予定(実施済:●、事業予定:○)									
						H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
14	天王寺大和川線	942	用地(82%) 工事(0%)	H29	完了期間宣言防災路線	●	●	●	●	●	○	○	○	○	
15	正蓮寺川歩行者専用道	23	用地(-) 工事(0%)	H32		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
16	長柄塚線	55	用地(40%) 工事(0%)	H28		●	●	●	●	●	○	○	○		
17	木津川平野線	121	用地(0%) 工事(0%)	H30	密集住宅市街地における骨格路線	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
18	北野今市線	329	用地(96%) 工事(58%)	H27	重点整備路線	●	●	●	●	●	○	○			
19	生玉片江線	214	用地(99%) 工事(75%)	H27	重点整備路線 密集住宅市街地における骨格路線	●	●	●	●	●	○	○			
20	歌島豊里線	247	用地(99%) 工事(59%)	H30	重点整備路線	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
21	本庄西天満線(神山)	191	用地(96%) 工事(71%)	H30		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
22	東野田河堀口線(大手前)	22	用地(42%) 工事(6%)	H30		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
23	田辺出戸線(長吉出戸)	36	用地(99%) 工事(99%)	H26	概成済み	●	●	●	●	●	○				
24	長吉線	33	用地(98%) 工事(99%)	H26	概成済み	●	●	●	●	●	○				
25	尼崎平野線(山王)	47	用地(44%) 工事(0%)	H29	密集住宅市街地における骨格路線	●	●	●	●	●	○	○	○	○	
26	生野線	40	用地(84%) 工事(72%)	H31	密集住宅市街地における骨格路線	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
27	豊里矢田線(嶋野・蒲生)	150	用地(87%) 工事(43%)	H28		●	●	●	●	●	○	○	○		
28	正蓮寺川北岸線(伝法)	68	用地(66%) 工事(0%)	H29		●	●	●	●	●	○	○	○	○	
29	尼崎塚線(住之江)	12	用地(62%) 工事(0%)	H29		●	●	●	●	●	○	○	○	○	
30	中之島歩行者専用道2号線	23	用地(100%) 工事(0%)	H33		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○



参考:H26 事業再評価 評価分類の考え方【街路事業(改築)】

事業番号	必要性の評価	実現見通しの評価	優先度の視点の評価	対応方針(案)
3. 大和川北岸線 4. 桜島東野田線	A~C	B	C	B
2. 新庄長柄線 5. 東野田河堀口線	A~C	C	C	C

【必要性の評価】

A~C・・・都市計画事業であるため必要性は高く、投資効果もある

【実現見通しの評価】

- A ……用地取得率が高く、計画どおり事業が終了するように事業費確保が図られる可能性が高く、完了予定年度で完成する路線(重点整備路線)
- B ……用地取得の目途があり、おおむね計画どおり事業が終了するように事業費確保が図られ、完了予定年度での完成が見込める路線
- C ……用地取得率は低いものの、買取要望の対応など一定の事業進捗のための事業費確保が見込める路線

【優先度の視点の評価】

- A ……都市計画事業であるため、事業遅延による影響が大きい。かつ、重点的整備路線に位置付けられた路線
- B ……都市計画事業であるため、事業遅延による影響が大きい路線
- C ……都市計画事業であるため、事業遅延による影響が大きい。既設道路において歩行空間等を有しているなど安全性が一定確保されている、または、用地取得済み区間の整備により道路が概成しており、事業遅延による影響が一定小さくなる路線